

# 道徳だより

令和7年9月30日発行

1年

題材名:門掃き

ねらい:社会の一員であるという意識をもち、ふだんから周囲に気配りをし助け合おうとすることが社会連携につながることの自覚を通して、主体的に社会に関わろうとする態度を育てる。

- ・門掃きは、きれいにするためのルールだと思っていたけれど、親切な気持ちも大切にしている風習なのだと思った。私が身近で実践できる気配りは、挨拶や会釈を毎日したり、重いものを持っている人がいたら運ぶのを手伝ったりすることだと思う。(2組)
- ・周りを見ることはすごく大切だと改めてわかりました。落とし物があっても拾わない人がいるけれど、誰かの落とし物を拾う人もいてすごく良い人だと思います。私は見習っていきたいと思いました。(3組)
- ・私が学んだことは、「目配り、気配り、心配り」です。私はいつもそんなに気の利くこともできていないけれど、目配りをして、何か落とす人がいたら迷わず助けたいと思いました。心配りはしたことがないので、してみたいです。(3組)

2年

題材名:和樹の夏祭り

ねらい:地域社会を形成するのは自分たちであるという意識をもって関わるからこそ、郷土への愛着や誇りが生まれることの自覚を通して、問題意識をもち、郷土の発展に努めようとする実践意欲を育てる。

- ・みんなで協力する気持ちを大切にして、自分が地域のために何ができるかを考えることが大切だと思いました。僕も祭りに出るので、今日学んだことを活かしたいです。(1組)
- ・自分には関係のないことだと思うのではなく、自分たちが作っていくんだと思うことが大切だと思います。そのためにも積極的に活動に参加したり、続けていくためには、自分にも責任があるのだと、一人一人が自覚していく必要もあると思いました。(1組)
- ・地域の祭りの良さを知ってほしいから、今でも祭りは続いているのだと思う。また、地域として仲を深めることや楽しむことが大切だと思う。ずっと続いているから、やめたくないという気持ちが強いのだと思った。(2組)
- ・地域の楽しい祭りは、昔の人たちがルールを守り、みんなで楽しんでいるから今まで続いてきたと思った。これからずっと祭りを続けるために、ゴミ拾いをしたり、ルールを守らない人のゴミを片づけたり、町をきれいにしたいと思った。(2組)
- ・この話を読んで、ルールやマナーを守りたいと思いました。ルール等を守らなければ、他の人にも迷惑をかけてしまうし、辛い思いをさせてしまうので、守りたいです。(3組)
- ・地域の活動を続けていくには、積極的に参加をしたり、楽しむだけでなく盛り上げようとする気持ちが大切だと思いました。(3組)

**3年**

### 題材名:私も高校生

ねらい: 本当に自分でやろうと決めたことを誠実に実行していくことが、自律的な生き方につながることの自覚を通して、自分の行為の結果に責任をもち、自律的に生きていこうとする態度を育てる。

- ・僕は意志が弱く、自分でやると決めたことが続かない三日坊主のような人だったけど、これからは自分の人生は自分で決めるものだし、あとになって後悔はしたくないので、自分でやると決めた気持ちは最後まで貫き通して、目標を達成できるまで諦めずに頑張りたいと思った。 (2組)
- ・今日の授業を聞いて、自分で決めたことをやり通すということはすごく大変だけど、せっかく自分で決めて頑張っていたのに、途中でやめてしまうのはもったいないことだなと思いました。他人に流される人生だけでなく、自分の強い意志を持って、簡単に諦めたくないです。 (2組)
- ・自分の人生は自分で決めることが大切だと分かった。でも、1人で全部決断するのはしんどいから、親や仲間の意見を参考にしたり、時には相手に合わせたりするのも必要だと思う。どちらにせよ、折れずに、(折れても頑張って立ち直り)成し遂げることが大切だと思う。 (2組)
- ・私は、目標を達成するために学び、友達と高め合いながら頑張っています。将来なりたい自分を想像しながら勉強することで、学ぶ意味や喜びを実感できるのだと思いました。 (3組)
- ・学ぶ意味や喜びとは、自分の成長や自分の人生を明るく楽しくするための大切な活動だと思う。自分の成長や新しい知識やスキルを身につけたときの達成感があるから、学ぶことに喜びを感じるのだと思う。 (3組)

### 題材名:エリカ－奇跡のいのち

ねらい: 生命はただ存在するのではなく、その生命を未来へ生かしつなごうとした多数の生命の意志があるからこそ尊い存在であることの自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。

- ・自分にとっての「生命をつなぐ」は、自分が誰かのために生きることです。なぜなら、自分が生きていることで救われる人がいるかもしれないし、自分もその相手を大切に思うことで、生きていると実感できるからです。誰かのために生きることは自分のことも好きになれるきっかけにもなるかもしれないし、誰かを大切に思うことは大切なんだと思いました。自分も大切にしながら、誰かを大切にしていきたいと思いました。 (1組)